

番号	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者		
1	7	小池 博之	(1) 2月豪雪を教訓に、今シーズンの除排雪の体制と、区との連携について	① 町民生活に影響する除排雪マニュアルの見直し。雪捨て場の整備と増設、除雪委託業者との連携は。	町長		
				② 区や自治会との連携強化と、除雪の役割分担の明確化をどう見直したか。			
				③ 区が行う業者除雪へ町として、一定の費用負担を行う考えは。また、区が購入する小型除雪機への補助、除雪機の貸し出しは。			
				④ 道路規制情報など、情報の一元化と、町民への情報提供の在り方は。			
			(2) 「教育の町ふじみ」推進について	① 県教委は「中学校の朝練習は原則廃止」と指針で示している。、富士見中学が「従来通り実施」としていることに、町教委の見解は。	教育長		
				② このほど県教委が県内全中学校に対して行った調査で、約7割の学校が県教委の指針に従って「朝練習廃止」の方向である。「従来どおり実施」している中学校はわずか11校(5.9%)となっている、この調査結果をどう受け止めるか。			
				③ 県教委は「指針は不断に見直す」という柔軟な姿勢を表明しているが、町教委として、今後の対応は。			
			(3) 富士見「テレワークタウン構想」の拠点について	① 報道によると、「テレワークタウン構想」で、当初の旧落合小学校校舎から、拠点を武蔵野大施設に変更する根拠は。	町長		
		② 旧落合小学校校舎の再利用計画との整合性をどう考えるか。					
		③ 職場兼住宅「ホームオフィス」構想との関連は。					
		2	10	名取 武一	(1) 開発事業の許可の基準について	① 開発事業の許可の基準に周辺住民への説明責任、周辺住民の同意を入れるべきではないか。	町長
					(2) 教育委員会について	① 来年4月から地方教育行政の組織及び運営に関し、新たな制度が施行される。町長は「総合教育会議」「大綱」の策定にどのような姿勢で臨もうとしているのか。	町長
② 新教育長は公募して決めるべきと考えるが。	町長						
(3) 児童クラブについて	① 条例制定により、児童クラブのどこが変えられようとしているか。				教育長		
	② 来年度は施設、要員が適切に確保できるか。適切に確保するためには何が必要か。						

番号	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
3	1	三井 新成	(1) 豪雪対策について	① 報告書の反省を踏まえて、情報の収集と各課の連携と指揮系統はどう考えているか。	町長
				② 指定管理との連携と路線分担に関わる重機の台数と配置はどう考えているか。	
				③ 集落内除雪の対応と補助基準は、また排雪場所の確保をどう考えているか。	
			(2) エコーライン沿線整備について	① 沿線に観光施設が整備できる準備をしていく考えは。	町長
				② この沿線への上水道の配水区域を拡大する考えは。	
				③ エコーラインを北杜市まで延長する考えは。	
			(3) 地域コミュニティについて	① 町民の各区政や町政への関わりについて現状をどのように考えているか。	町長
				② 関心が薄れていく要因をどう考えているか。	
				③ 積極的に参加していただくために選挙、事業、行事等の参加協力金を支給する考えは。	
			(4) 放射能測定器について	① 測定器の使用状況と、維持管理費及び、今後継続するうえでの問題点は。	教育長
(5) 防災対策について	① 住宅の耐震化対策として特に基礎補強に対しての補助金制度を設ける考えは。	町長			
4	3	五味 平一	(1) ワインバレー構想の現状と今後について	① ワインバレー構想が始動したようであるが場所とその規模は。	町長
				② ワインバレーの補正予算はどのように執行されているのか。今後の予定は。	
				③ ブドウ栽培を行う場所について土壌・日照時間・温度・水はけ等の調査をどのように行い確定したか。	
				④ ブドウ栽培について事業開始後町内適地への水平展開は。	
				⑤ ワインブドウの生産者選任はどのように行うのか。また指導方法は。確定時期は。	
				⑥ ワイナリー経営についての考えは。また建設費用等についての考えは。	

番号	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
4	3	五味 平一	(2) 26.2.14～15富士見町豪雪災害対策本部報告書から見る危機管理体制について	① 町長は災害対策本部長としてこの報告書から何を感じとったか。	町長
				② 2月豪雪の反省から雪害及び各種の災害に対する新規の取組方法、又は考え方は。	
				③ 報告書によると、行政・住民双方に対する情報不足が議論されているが考え方は。	
				④ 間もなく降雪の季節となるが反省材料に対する実行性は。先送りになる事項もあるのか。	
				⑤ 災害対策本部設置に対する基本的考えは。またマニュアル化について考えは。	
5	4	小林 市子	(1) 生活に関わる廃棄物減量化対策について	① 家庭及び事業者からの廃棄物処理のために、町がどの程度負担しているのか。その環境コストを削減するために町はどんな仕組みを考えているのか。	町長
				② 家庭から排出される生ごみ堆肥化・可燃ごみ減量対策を実施したモデル集落の状況評価は。	
				③ 第5次総に町が目指す廃棄物・リサイクルの排出抑制具体策と目標値を示す考えは。	
				④ 「生ごみ堆肥化運動」(案)を推進し、可燃ごみ減量への積極的な行動や仕組みで行政コストを削減する考えは。	
	(2) 地方創生の推進について	① まち・ひと・しごと創生法案に対応する富士見町地域社会形成へ向けて、目標や施策に関する基本は何か。	町長		
		② 足元の地域性を活かした環境整備の維持管理は厳しい状況にある。エコパーク・ジオパークと共に生物多様性の自然環境・景観保全に向けた取り組みの具体策は。			
		③ 地域社会を担う次世代や中小企業、町を牽引している大企業等と、地方公共団体相互の連携に、行政がコーディネート役割を求められているが方針は。			

番号	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
6	8	佐久 祐司	(1) 改正介護保険制度について	① 平成27年度に改正される介護保険制度では、予防給付のうち訪問介護・通所介護が地域支援事業への移行される。どのような計画で行われるか。	町長
				② 新基準の単価は「国が定める額(予防給付単価)を上限としつつ、ふさわしい単価を定める」とあり、現行の介護保険報酬単価よりも下がると思われる。どのような対策を考えているか。	
				③ 地域課題を共有し、課題解決に向けた関係者のネットワーク構築や資源開発、施策化を図っていく地域ケア会議の設置状況は。	
				④ 多様な主体による、生活支援・介護予防サービス充実のための「生活支援コーディネーター」と「協議体」は、どのようにつくっていくか。	
				⑤ 介護予防・日常生活支援総合事業ガイドラインで推奨している、生き甲斐や介護予防のための高齢者の社会参加について、どのように実施していくか。	
7	2	小池 勇	(1) ふるさと納税で町おこしを	① ふるさと納税制度を積極的に活用して、町おこしに取り組むつもりはあるか。	町長
8	6	宮下 伸悟	(1) 子どもたちのICT活用とネットリテラシー教育について	① スマホの普及を含む情報通信技術の加速度的進化と、SNSなどのネットサービスにおける短期間での環境変化に対し、学校現場での知識と理解は十分に追い付いているか。	教育長
				② 子どもにICT活用に関する指導を行うために、自身への指導を望む保護者が半数に達したとの総務省のアンケート結果もある。時代に即したICTの適切な活用方法や、急速に変化していくネット上の様々なトレンド等の情報を、学校と家庭で共有できる仕組みが必要と考えるが、現状はどうか。	
			(2) 生活再建型滞納整理について	① 町税等の滞納整理において、債務過多を含む生活困窮の状況を把握する仕組みはあるか。	町長
	② 滞納者が借金で困っている状態が確認できた場合、債務状況を聴取の上、弁護士等に誘導して債務整理を行い、ケースによっては過払金債権の差し押さえを行って納付に繋げる「生活再建型滞納整理」の動きが広がっているが、富士見町における滞納整理スキームの現状はどうか。				
		(3) 国の「地方創生」施策への対応について	① 石破地方創生担当大臣は「地方創生」に関して、市町村ごとに主体的なビジョン＝「総合戦略」を求める姿勢を示している。「地方創生」の施策をいち早く積極的に活用するために、5次総は国の示すようなフレームにも応用できることが望ましいと考えるが、現状の策定の方向性で対応可能か。	町長	

番号	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
8	6	宮下 伸悟	(4) 役場の組織機構における課題と広域連携のあり方について	① 諏訪6市町村の合併協議破綻から10年が経過したが、諏訪広域における市町村連携について今後の方向性はどうあるべきと考えるか、町長の見解を伺う。	町長
				② 人員の合理化によって、役場では現在もギリギリのマンパワーで行政運営が行われており、職員たちはすでに限界なのではないかと懸念する。近隣の市町村間で連携して運営する部門をさらに拡大することで業務を合理化し、人員の負荷軽減へと繋げるべく広域で提言してはどうか。	
9	9	加々見保樹	(1) 指定管理者制度について	① 近年、整備した指定管理者委託施設は有効に稼働しているか	町長
				② 指定管理者の運営はどの施設も経営が苦しく、特に社会福祉協議会(以後、社協)の指定管理施設は赤字が多いと聞いている。赤字を出しても仕方ないのか	
				③ 福祉施設の指定管理者は選定委員会ですべて非公募で社協を選定しているがなぜか	
				④ 役場職員を常に社協に出向させているが正当な理由があるのか。今後も出向させるのか	
				⑤ 経理規定(規約)が設定されていない委託施設がある。コンプライアンス上問題はないか	
(2) 区役所建て替え(更新)への支援について	① 信濃境区役所は耐震診断で「危険」という結果が出ている。町はこのまま放置するのか	町長			
	② 建て替えの資金捻出が困難と聞く。町で支援する考えはないか				
	③ 歴史的、文化的価値の高い建物との評価もある。町の対応は				
(3) 農業施設投資への対応について	① 転作促進事業で始めたカーネーション栽培用ハウスの屋根を更新する時期がきている。更新には多額の費用が見込まれ、市場価格が当初の1/2であり厳しい状況が続いている。町で更新費用の一部を補助する考えはあるか	町長			
	② 新分野(ワイン、カシス、レタス)の開拓も結構だが、脈々と築き上げた富士見ブランドとしての評価の高い農産物を維持・推進する政策も必要と考えるが				

12月 8日(月) 1～5番 (5名)

12月 9日(火) 6～9番 (4名)